文書番号:TK-EA21

エコアクション　21

環境経営レポート

対象期間　2022年10月1日～12月31日

発行日　　2023年4月28日 （ 第1版 ）

TAKEMATSU

武末建設株式会社

目　次

①	組織の概要、認証・登録の対象範囲	1P
②	環境経営方針	2P
③	環境経営目標　中期環境経営目標(3か年)	3P
④	環境経営目標及び環境負荷への自己チェック表に依る評価	4P
⑤	環境経営計画及び実施状況	5P
⑥	体制図	6P
⑦	環境関連法規	7P
⑧	代表者による全体の評価と見直し	7P

組織の概要、認証・登録の対象範囲

① 組織の概要

1）事業所名　武末建設株式会社
　代表者氏名　代表取締役社長　大久保　智司

2）所在地　本　社　〒861-4101　熊本県熊本市南区近見1丁目16番6号
沖新倉庫　〒861-5273　熊本県熊本市西区沖新町字新開割
吉田駐車場　〒861-4101　熊本県熊本市南区近見1丁目

3）環境管理責任者　専務取締役　川端　修二
　担当者氏名　総務部長　松本　敏記
　連絡先　TEL　096-324-2595　FAX　096-353-1021
Eメールアドレス　：　takematsu.ks@takematsu-c.co.jp

4）事業の内容
【建設業許可番号】　熊本県知事　許可(特－2)第17966号
【建設業の種類】　土木工事業、建築工事業、大工工事業、
石工事業、とび、土工事工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業
鉄筋工事業、タイル・レンガ・ブック工事業、舗装工事業、板金工事業
、塗装工事業、防水工事業、建具工事業、内装仕上げ工事業

5）事業の規模　総売上額:561百万円(令和4年度)

	単位	本社	沖新倉庫	駐車場
従業員数	人	18	無人	無人
延床面積	㎡	160	72	235

6）事業年度　期首3月～期末2月

認証・登録の対象範囲

1）事業活動　建築・土木工事の請負に関する業務

2）対象事業所　本社　（駐車場は本社に含む）
＊ 沖新倉庫は社員所有の倉庫を借りて主に書類を保管
（頻繁な資材の出入りは無い）

②　環 境 経 営 方 針

私たち、武末建設株式会社は経営理念である「明日への挑戦」の中「変化を恐れず努力を惜しみません」及び「仕事を通じ地域や社会に貢献しお客へ満足の提供と自己向上を目指す」に基づき、地球環境悪化を抑える為、身近な活動を自主的に行い環境経営の継続的改善を誓約します。

1　次の項目を重点項目として取り組みます。

1）電力、燃焼等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。

2）廃棄物の再資源化率の向上を 推進します。

3）水使用量削減のため、節水活動を推進します。

4）工事については、環境配慮の施工を推進します。

2　当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

3　地域貢献活動を推進します。

4　全従業員に周知します。

制定日　2022年10月1日

武末建設株式会社
代表取締役社長　大久保　智司

③ 環境経営目標

中期環境経営目標(3か年)

事業年度:3月～翌年2月

	項目	単位	2021年	試行期間	2022年	2023年	2024年
			(実績)		(目標)	(目標)	(目標)
1	電力	kWh	23,201	5,275	22,969	22,737	22,505
	使用量削減		基準		-1%	-2%	-3%
2	ガソリン	L	1,530	419	1,515	1,499	1,484
	使用量削減		基準		-1%	-2%	-3%
3	軽油	L	310	59	307	304	300
	使用量削減		基準		-1%	-2%	-3%
4	LPガス	kg	16	3	15.8	15.7	15.5
	使用量削減		基準		-1%	-2%	-3%
1～4	二酸化炭素	kg-CO2	12,950	8,061	12,822	12,691	12,562
	使用量削減		基準		-1%	-2%	-3%
5	一般廃棄物	kg					
	使用量削減			削減に努める	削減に努める	削減に努める	削減に努める
6	建設産廃	%	97.0	97.0	98.0	99.0	100.0
	リサイクル向上						
7	水	m^3	88	20.8	87.1	86.1	85.3
	使用量削減			節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める
8	環境配慮の施工	品目数	0	10	12	13	15
	F☆☆☆☆商品の使用						
9	地域貢献活動	回	2	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

＊F☆☆☆☆商品は現場で使用する認定材料を表示(クロス・塗料・接着剤ほか)

備考

1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.370kg-CO2/kwh(九州電力2021年度・調整後)を使用

2.ガソリンL×排出係数0.0671×単位発熱量34.6

3軽油L×排出係数0.0687×単位発熱量38.2

4.灯油L×排出係数0.0679×単位発熱量36.7

様式番号:5-01

④ 環境経営目標の実績

様式3－1 **環境への負荷自己チェック表に依る評価** （本社＋現場分）

試行期間 令和4年10月～12月 ① ② ②/①

番号	項目	時期	単位	目標	結果	達成率	評価	2023年	2024年
								（目標）	（目標）
1	電力	R4.10～12	kWh	5,275	4,514	86%	○	22,969	22,505
2	ガソリン	R4.10～12	L	419	383	91%	○	1,499	1,484
3	軽油	R4.10～12	L	59	248.5	24%	×	304	300
4	LPガス	R4.10～12	kg	3	2.8	93%	○	15.7	15.5
1～4	二酸化炭素	R4.10～12	kg-CO2	3,079	3,208	104%	△	12,691	12,562
5	一般廃棄物	R4.10～12	kg	削減努力	削減努力		○	削減努力	削減努力
6	建設産廃リサイクル率	R4.10～12	%	97	26.1	27%	×	99	100
7	水使用量	R4.10～12	m3	20.8	24.0	115%	△	86.7	85.3
以上は環境への負荷自己チェック表からの結果									
8	環境配慮の施工	R4.10～12		4☆商品 10使用	18使用	180%	○	13	15
9	地域貢献	R4.10～12	回	2回/年	1回（11月）		○	2	2

試行期間結果数値② 係数

1	電力	4,514	0.370	1,670.2
2	ガソリン	383.0	2.32	888.6
3	軽油	248.5	2.58	641.1
4	LPガス	2.8	3.00	8.4
1～4	二酸化炭素			3,208

3,414（本）+1,100（北区耐震JV）

313（本）+70（北区耐震JV）

⑤ 環境経営計画及び実施状況　　とその評価、次年度の計画

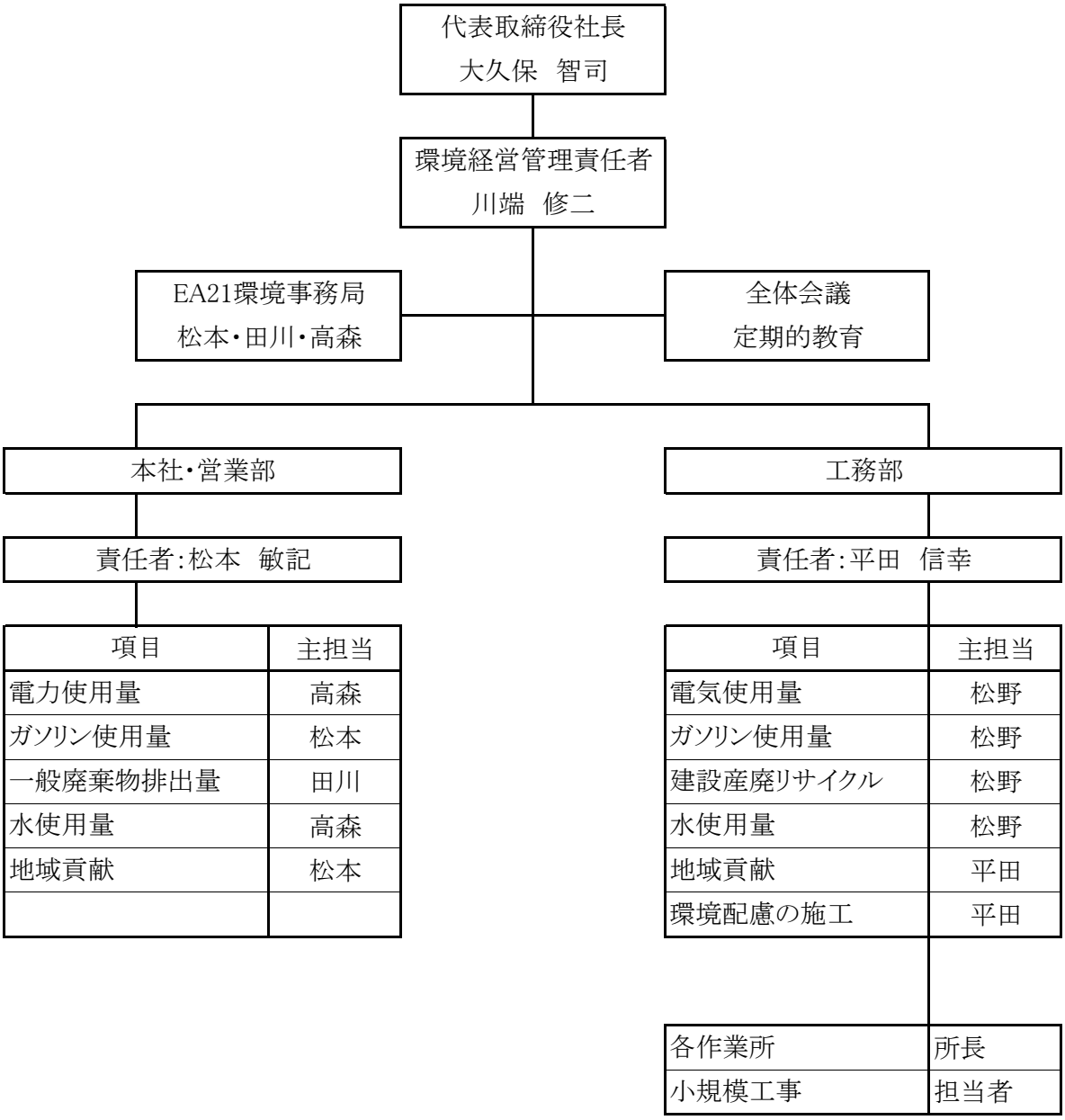
実施状況　○よくできた　△だいたいできた　×できなかった

	計画	担当	事務所	実施	担当	作業所	実施
	電気使用量の削減	高森	1.エアコンの設定温度 夏は26℃　冬は20℃	○	松野	1.エアコンの設定温度 夏は26℃　冬は20℃	○
		高森	2.外気の取込、扇風機活用	○	松野	2.外気の取込、扇風機活用	○
		松本	3.エアコンフィルター定期清掃	○	松野	3.エアコンフィルター定期清掃	△
		高森	4.不要時の消灯	△	松野	4.不要時の消灯	△
		高森	5.OA機器退社時の電源切	△	松野	5.OA機器退社時の電源切	○
	ガソリン・軽油使用量削減	平田	「エコドライブ10の進め」の取組	○	平田	「エコドライブ10の進め」の取組	○
		松本	「エコドライブ10の進め」を社有車に搭載	○	松本	「エコドライブ10の進め」を社有車に搭載	○
	一般廃棄物量の削減	田川	1.廃棄物の削減努力	○	松野	1.廃棄物の削減努力	○
			2.コピー用紙裏紙利用	△		2.コピー用紙裏紙利用	△
	産業廃棄物量の削減				平田	排出量の削減	○
						リサイクル率向上	△
	水使用量の削減	高森	蛇口付近に節水シール	○	松野	蛇口付近に節水シール	○
	環境配慮の施工				平田	F☆☆☆☆品の発注数の確認	○
	地域貢献活動の推進	松本	地域公共物等の定期清掃	○	松野	現場外周辺の清掃	○

次年度の計画

	計画		活動項目			次年度の取組計画	
	電気使用量の削減		こまめな消灯、帰社時のPC電源切等			同左継続	
	ガソリン・軽油削減		エコドライブ10、省エネ機材の使用			同左継続	
	一般廃棄物量の削減		コピー用紙裏紙利用、分別収集			同左継続	
	産業廃棄物量の削減		排出量削減、リサイクル率向上			同左継続	
	水使用量		節水			同左継続	
	環境配慮の施工					同左継続	
	地域貢献活動の推進		地域公共物の定期清掃			同左継続	

⑥　実 施 体 制 図



＊上記項目に対する行動計画・記録が必要

様式番号:4－01

文書番号 TK-EA21

改訂番号

⑦ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規	適用される事項（施設・物質・活動など）
建設リサイクル法	解体時80㎡以上等届出必要時の対応
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
振動・騒音規制法	特定建設作業の届出、建設現場での機械使用時の振動・騒音レベルの遵守
大気汚染防止法	建物解体時に於ける調査・報告
フロン排出規制法	空調機の簡易点検など
水質汚濁防止法	現場からの排水基準遵守

令和5年4月25日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反は有りませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

様式番号:13－01

文書番号 TK-EA21

改訂番号

⑦ 代表者による全体の評価と見直し記録

□ 企業理念・環境経営方針については修正なく活動する。

□ 目標・活動計画については、試行期間の目標数値と相違が出たが、年間の目標については計画通り活動する。

□ 実施体制・その他については、全社員に対して周知活動を継続する

□ 試行期間3か月の総括としては、エコアクション21に対して身近にできる行動を再認識した程度に感じる。今後も継続して活動の理解を深め、計画に添った行動を行うよう引き続き周知する。

2022年4月25日

武末建設株式会社

代表取締役社長 大久保 智司